

# 足立区の桜

丸三興業代表取締役の本野です。  
今月より、月初に社員が各々テーマを決めて  
コラムを書きます。  
各自がどんなことを書くか、私も楽しみにしております。



そして、今月は私が担当します。  
私の趣味はスポーツでとにかく体を動かすことが好きです。  
その一つがランニングです。  
もっぱら走るコースは荒川河川敷。

河川敷を走ると季節によってさまざまな光景をみます。  
ベンケイガニが数百匹横断していたり、夏の夕方鉄橋の下で猫たちが涼んでいたり、  
満月の明かりが水面に反射してきれいに見えたり、



猫10匹 夕涼み



親子で野球やサッカーを特訓していたり、、、、  
運動会シーズンでは高校生たちがダンスの練習を  
していたりと、私は走りながら仕事のことを考える  
のですが、そのような光景を見るとほほえましくなり  
仕事終わりの河川敷のランニングは最高のストレス解消となっております  
そして走るコースの途中、西新井橋から都市農業公園に向かっての左岸側には  
桜の木が植樹してあります。



五色桜さんぽ道

以前から気になっていたので、  
お世話になっている造園会社の社長さんに教えてもらいました。

この桜は里帰り桜と呼ばれています。

その語源は明治45年当時の東京市長が日米友好の証として

「荒川の五色桜」の苗木12品種3,000本をアメリカの首都ワシントンに贈り、  
その贈った五色桜は成長し市内のポトマック公園は世界的な桜の名所となっています。  
しかし、本家の「荒川の五色桜」は堤防の工事や公害の影響で衰退してしまいました。  
そこで昭和56年、足立区制50周年の記念事業としてポトマック公園の  
桜から枝を採集して30品種以上の3,000本の「桜の里帰り」が実現しました。  
その枝から苗木を増やし桜の名所として都市農業公園や荒川左岸鹿浜橋緑地が  
誕生したそうです。



大正時代の河川敷風景

足立区の木「区の木」は桜です。

足立区のホームページでは足立の桜名所として18か所も紹介しています。

来年の春は令和最初の花見（桜）となります。

ぜひ足立区にたくさんの方が来てもらうことを願っております。